

平成28年度 長野女子高等学校 自己評価

学校教育方針

1. 礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う。
2. 自ら知識と技能を体得し、正しく広く追究していく清新な姿勢と能力を培う。
3. 責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う。

中長期目標

1. すべての教科において、学校教育方針の具現化を目指し、年間指導計画で目標を位置づける。
2. 学力の向上をはかり、希望進路の実現を目指す。
3. 教職員の指導力を高める。
4. 信頼される学校づくりを目指す。

平成28年度 重点目標

1. 次年度の改革に備え、ICTの利用などの授業革新の研究を進める。
2. 国数英の教科を重点にし、読み書き計算力などの基礎学力の向上を目指す。
3. 交通安全意識の向上により、生徒の安全の確保を目指す。
4. 各種検定を通して、基礎・基本にかかわる知識、技能を身につける。
5. 習熟度別学習、チームティーチング(TT)による、学力の向上をはかる。
6. 校則の順守を徹底し、規範意識の増進を目指す。

分野	評価項目	観点	評価 A~C	成果と課題
教育課程	教育課程の研究・改善	新学習指導要領、新コース制導入に沿った教育課程の研究が行えたか。	C	高大接続、新学習指導要領に向けたカリキュラム再編及び学力の3要素による適切な評価対応等について検討の準備に入った。
		3学年の選択科目の選択において生徒の個別指導ができたか。	B	生徒が自主的、主体的に学習に臨む態度の育成を目指した。
学習指導	基礎学力定着	習熟度別授業を通し、各生徒に合った進度で授業を行えたか。	A	基礎科目はレベル別に編成している。 生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目的にClassiを導入した。
	学習指導力向上	教員相互で授業参観を実施し、授業の質の向上がはかれたか。	B	新任職員の授業検討会、校内研修を実施した。
生徒指導	校則の実践、定着	校則の意味及び必要性を指導できたか。	A	特に頭髪・アルバイトの決まり・指導について職員間の意識統一を図った。また生徒の校則への理解を深めるために細則を生徒手帳に掲載、校則の見える化に向けて準備を始めた。
		自ら校則を守ろうとする意識を持たせることができたか。	B	指導と説明に追われる場面があった。
	基本的生活習慣の定着 および社会性の向上	挨拶、遅刻、欠席、身だしなみ指導が継続的に行うことができたか。	B	継続的な指導は行ったが徹底不足の面があり課題として残った。
進路指導	進路指導計画の確立	3年間の長期展望に立った進路計画が整備できたか。	A	総合学習、ホームルーム等できめ細かな指導ができた。
	キャリア教育の確立	1年次より、将来を見据えたキャリア教育が行われたか、特にインターンシップ、サマーチャレンジボランティアなどの課外活動を積極的に推進できたか。	A	同上。加えてボランティア活動を通して他者と協働して学ぶ態度をさらに育成したい。
開かれた学校	情報提供	ホームページ、オクレンジャー、プリント類を通じて、情報発信できたか。	A	最新情報の更新とタイミングと頻度が課題。オクレンジャーについては積極的に活用できた。
	地域活動	地域の清掃や雪かきなど、地域活動に参加できたか。	A	地域の清掃活動に参加することで、地域の地域住民の方々とのつながりを深めることができた。
	PTA活動	学級、学年、地区PTA、オクレンジャーを通じて、保護者の声を吸収できたか。	A	地区懇談会・学級PTA(保護者懇談会)・学年会を通して保護者と緊密な情報交換を行うことができた。

A: 評価できる B: 概ね良い C: 不十分